

2022年度

第2回

自己評価委員会報告書

於：令和5年2月

学校法人長野県理容美容学園

松本理容美容専門学校

自己評価委員会報告書

日 時：令和5年 2月13日（月） 10：30～13：00

場 所：松本理容美容専門学校 会議室

出席者名：（学園）長尾理事長・嶋村副理事長・吉川事務局長・桐山広報企画部部长

（学校）小原校長・小口教務主任

長尾理事長挨拶

今年度はコロナ渦の大変な中、学校としてきちんと対応して頂き、また、自己評価をすることに重点をおくことで今後も引き続き、レベルアップしていき、引き続き、前向きに結果につなげてほしい。

マスク着用緩和が政府意向として3月13日より実施となるが、その都度状況をみながら判断して行ってほしい。基本的には、感染対策は継続していき、両校統一した考えで進めてほしい。

【審議検討事項】

1. 2022年度自己点検・自己評価について（資料①参照）

2022年度報告として、7月自己評価委員会において中間報告した項目に加え、全項目の周知すべき点の報告を行った。

（基準1）

- ・令和4年度を振り返り、コロナ禍3年目となったが感染対策と学修方法の両立が日常となり、学校行事も概ね計画通り進めることができた。
- ・今後、新任教員の募集を進めると共に教員育成についても課題としていく。
- ・コロナ禍により、中止、縮小を余儀なくされたキッセイ文化ホールでのヘアショーを、保護者や高校生を招待して開催することができた。
- ・理美容甲子園地区大会、全国大会は、縮小された規模ではあるが計画通りに実施された。（ヘアデッサン部門で1名全国大会へ進出した）
- ・エステティックコンテストは地方大会、全国大会は行われたが本校の参加希望者はいなかった。
- ・令和5年度開催を視野に入れて Beauty Collection は長野校、松本校との合同開催の準備を進めていく。

（基準2）

- ・令和3年7月26日から令和5年1月23日までの感染者届の総数82名
- ・2022年11月～2023年1月（第8波）40名 感染者の生徒に重症者はいない状況で、規定に沿った感染対策を取り入れて、必要に応じて午前授業、クラス閉鎖を行った。
- ・令和5年度の授業計画、行事計画、予算計画は、通常通りの計画として推進する。
- ・現状、不十分ではあるものの通信環境、通信機器を取り入れることで、オンライン授業を取り入れる設備は整っている。ただし、今後の危機管理の観点、社会情勢の変化、生徒のニーズに 대응していくためには、さらなる情報システム環境の改善が求められている。
- ・令和7年度生徒募集におけるオンライン出願実施に向けて、県内高校への周知と共に要望を取り入れながら進めていく。

（基準3）

- ・令和4年度より美容科2年生選択授業の内容を変更し「メイク・カット・アップ・まつエク」「ネイル・カット・ブライダル・カラー」としたが、令和5年度も引き続き教科は同様として、内容を改善しながら進めていく。
- ・令和5年度 美容科2年生選択授業の教科として
前期30時間：「メイク、ヘアセット、カット、まつ毛エクステンション」
後期30時間：「ネイル、カット、ブライダル、カラー」
- ・令和5年度の理美容科実務実習は、2年生5月に3日間、1年生1月に3日間。通常の取り組みとして実施する。
- ・各学期末に生徒への授業アンケート調査を実施すると共に、教職員による自己評価を実施することで、今年度の反省と次年度への目標設定の手立てとしている。

- ・8月松本校にて両校交流研修会（長野校リモート参加）
宮澤悠維先生による「学級経営の心得 生徒との向き合い方」
理美容科 資生堂講師による「デジタルパーマ講習会」
- ・新任教員の募集について、学園との協力を仰ぎながら個々の卒業生へも働きかける。
- ・新任教員の育成機会を好機と捉え、教職員全員が協力して関わることで、教職員組織全般に至る指導力の向上と統一を同時進行させていく。
- ・令和4年度理美容科資格試験の結果
 - ①1年生ヘアカラー検定シングルスター 95名受験 全員合格 100%
 - ②2年生サービス接遇検定3級 98名受験 86名合格 合格率87.8%
 - ③1年生JMAメイクアップ2級、3級 68名受験 66名合格 合格率95.7%
 - ④2年生社会福祉準福祉理美容士 99名受験 全合格 100%
 - ⑤2年生ジェルネイル検定 23名受験 19名合格 合格率82.6%
 - ⑥1年生INAネイル検定 87名受験 83名合格 合格率95%
 - ⑦1年生パーソナルカラー検定 74名受験 全員合格 100%

(基準4)

○令和3年度～令和4年度 ビューティビジネス科 各種資格試験の結果

- ・JNECネイリスト検定3級 13名受験 合格率100%
- ・日本アロマ環境協会アロマセラピー検定1級 13名受験 合格率100%
- ・JMAメイクアップ検定3級・2級 5名受験 合格率100%
- ・AEA上級認定エステティシャン 11名受験 合格率100%
- ・秘書検定2級 11名受験 合格率58%
- ・日本ブライダル文化振興協会 ブライダルコーディネーター検定3級 受験者12名 合格率50%
- ・日本エステティック協会A j e s t h e 認定上級エステティシャン 受験者11名 合格率100%

○令和5年2月10日 現在 休学者7名 退学者3名

- ・休学・1年生美容科4名、理容科1名、BB科1名 ・2年生美容科1名
- ・退学・1年生美容科2名

休学退学理由には、経済面、精神面、友人面、学力面、進路面等1面の対策では解消できない複雑さがあり、保護者への説明、協力等も試みているが結果に繋がらない。

「本人の意向」に対して、異議を唱える保護者がほとんどいない。

(基準5)

- ・令和4年度「給付型修学支援」対象者：1年生25名 2年生21名－20.4%
(奨学金対象者 1年生36名 2年生33名－30.6%)
- ・アフターコロナの観点から、国、県からの感染対策ガイドラインに沿って健康管理を継続する。
- ・令和5年度 ビューティコレクションを見据えて、在校生の仲間意識を高めていく。
- ・「理美容甲子園」、「エステティックコンテスト」への参加準備を進めている。
- ・令和5年度予算計画からの状況を踏まえ、教材費高騰の現状を丁寧に周知するため、令和4年12月に保護者宛てに教材費高騰の理解を求める旨、通知を行っている。今後も、現状報告を行っている。
- ・コロナ禍により自粛傾向であったが、サロンで活躍している卒業生の情報収集に努め、在校生への技術セミナーやオープンキャンパスへも協力を要請する。
- ・ヘアメイクアーティスト希望の生徒が増えてきたため、3月1日資生堂SABFA講師によるセミナー開催予定。同時に、TOKON協力による就職セミナー（30サロン）開催予定。
1サロンでも多くのサロンとの機会を設け、就職活動の意識を高める。
- ・新2年生対象の就職活動説明会実施。（2月2日）
- ・本寮について古くなってきているため、各設備修繕費を予算化し、不備のないよう環境を整えている。
(エアコン・給湯器等)

(基準6)

- ・令和5年度実施計画
5月2年生サロン実務実習・5月、6月就職ガイダンス・7月ヘアフェスティバル・8月BB科パルコイベント・9月ビューティコレクション・10月1年生修学旅行（大阪USJ）・1月1年生サロン実務実習
- ・コロナ対策を実施しながら、各行事を工夫して行うことができている。
- ・リモート形式・対面形式両方で対応できる資料を作成した。今後活用していきたい。

(基準7) **総括**：継続し学生募集に力をいれていく。

令和5年度の入学生の確保は、コロナ禍も落ち着き、昨年度よりも県外流出が懸念された。しかしながら、説明会において本校の特色となる国家試験合格率、資格試験合格率、就職率は100%を掲げ、地元での伝統校としての強みをアピールしたことにより、昨年度よりは若干減少したが概ね例年通りの学生確保が出来た。長野校新校舎の影響も大きいと感じている。理容科、ビューティビジネス科への職業理解と入学動機を喚起して、入学生の確保に努める。特に理容科においては、理容支援サロンとの協力体制を改めて強固にしていく。

- ・生徒募集においてネット出願の受け入れ態勢の準備を令和6年度募集までに構築する準備開始している。
- ・令和5年度より実施する特待生・指定校生の入試制度変更内容について高校廻りを実施する準備を開始している。
- ・今まで以上に高校生獲得に向けて、県外流出を防ぐ手立てを強化していく必要がある。その方策として、マイナビ・リクナビ等の進学ネット内容を深めていく取り組みを始めている。また、本学園希望以外の美容系希望者に対して、DMチラシを発送した。(3月上旬)
- ・2023年度9月実施予定のビュー・コレ2023の打ち合わせ実施し、具体的な予算化・チラシ制作準備開始している。両校職員に対して打ち合わせ資料準備し、3月23日学園研修時に1回目の打ち合わせを行う。ビックハット3/13実施予定。

(基準8) 継続して、問題なく実施できている。

(基準9) 継続して、問題なく実施できている。

- ・令和5年度実施計画作成全般に至り、アフターコロナとなる通常運営を意識した。年2回の自己評価、自己点検があることにより改善すべき項目が明確となり、学校運営の基盤となっている。また、生徒アンケートと共に個々の教職員による自己評価の結果から、現状把握を明確にして令和5年度の目標設定に反映させた。

(基準10) 継続して、問題なく実施できている。

2. 重点目標について (別紙1・2参照)

○2022年度実施報告

① 各行事における生徒達成感をもたせる

下半期の反省

- ・コロナ禍3年目となるが、感染者への対応、保護者連絡、授業計画、行事計画等感染状況に合わせた対策を行うことで、概ね計画の実施することができた。
- ・コンテスト、ヘアフェスティバル、ヘアショーについては、各選手、実行委員や生徒会による協力体制を図り、成功させることができた。
- ・オープンキャンパスにおけるクラス対応も、クラスの個性を発揮してオープンキャンパス来校者からの高評価が得られている。

② 生徒指導の充実

下半期の反省

- ・休学者、退学者の現状を、教職員個々が真摯に向き合い、良かれと思われる対策を講じていく。大きな変革を望むのではなく、日々における細事の習慣化を見直すことが大きく改善させる手立てとなる。
- ・今年度の反省と共に、生徒アンケート、教職員自己評価、自己評価の集計を令和5年度の目標設定における客観的な根拠として取り扱う。

③ 学生募集から就職指導の一貫指導

下半期の反省

- ・担任の先生方と協力をして就職内定率を上げるために、就職部として情報を共有することが出来、スムーズに就職指導することが出来た。まだ2名就職未定の生徒が居るので引き続き、面談をしながら内定獲得につなげていく。
- ・ヘアメイクアーティスト希望の生徒が増えてきたため、新しい取り組みとして、3月1日に資生堂SABFA講師

によるセミナー開催予定。同時に、TOKON協力による就職セミナー（30サロン）開催予定。

1サロンでも多くのサロンとの機会を設け、就職活動の意識を高める。

- ・新2年生対象の就職活動説明会実施（2月2日）し、早い段階で就職に対する意識を高める指導を担当と協力し、就活をすすめている。

3月31日時点で2021年度重点目標の実施状況の報告

2023年度も引き続き、重点目標を中心に向上していく努力をしていく。

○2023年度目標課題

① アフターコロナを見据えた、新たな日常の構築

- ・コロナ禍で停滞した雰囲気、前向きに変えていく
- ・コロナ禍3年間の高校生活を過ごした、新入生の意見や感想に耳を傾ける。
- ・内規に沿った生活指導や学習指導の共通理解を再確認して、継続指導を行うこと、変更事項が必要なことを精査して「校長主任会への提案を行う」

② 生徒指導の充実

- ・多様化する生徒個々の思いに向き合うと共に、教職員全員がチームとなって情報共有を行いながら、生徒指導の充実を図る。
- ・個々の教師における、得意分野と苦手分野に理解を深めて、協力し合う組織を目指す。

③ 学生募集から就職指導の一貫指導

- ・令和5年度入学生希望者を対象とした「オンライン出願」への整備と周知を進める。
- ・就職指導を生活指導の延長ととらえ、就職部からの情報収集を行い、クラス担任が主体となって内定まで指導を続ける。

3. 学校関係者委員会の報告（資料2）

- ・コロナ影響もあるが、感染対策・予防を行いながら、在校生満足度を第一に考え、引き続き対応していきたい。
- ・在校生の意見をきちんと聞きながら、学校運営を継続して行ってほしい。
- ・授業アンケートの実施について、生徒主体の学びよりも講師への評価が多く感じられた。国家試験合格に向けての授業への要望（板書方法・わかりやすい説明など）感情的指導ではなく、目標に向かった指導をしてほしい旨を講師の先生方に伝えている。
- ・経済的理由の退学者について、厳しい時代だと感じる。
- ・難しい家庭環境の学生も増えてきている。引き続き、退学者・休学者を出さない学校になるため、サポート体制に力をいれていきたい。
- ・通信制希望のお客が多いと感じている。奨学金が通信生も対象となると良いが、サロン側としても夢実現に向けて支援していきたい。
- ・就職活動において、目標の持たせ方が難しいが、今後より一層生徒に寄り添い、就職内定率100%にとらわれすぎずに、キャリアプランをきちんと考えさせ、自分たちでしっかりと調べさせ、考えさせる指導をしていく。
- ・学生支援においては、年々手厚くなってきている。学びやすい環境は整っている。
- ・在校生満足度に重点をおき、生徒たちを支えていける存在になるよう、前向きに改善していきたい。
- ・コロナと上手くつきあいながら、就職活動や1つでも多くの思い出を作してほしい。
- ・今後もコロナ感染拡大が心配である。今後より一層気を引き締めて、頑張してほしい。
- ・今年度も引き続き、コロナ感染予防を実施しながら、技術面等において不足のないよう在校生満足度に重点をおき、指導していきたい。

- ・美容業界として、高校生への仕事の魅力を学校と一緒に伝えていきたい。学校支援サロンに学校パンフレットを配布し、置いてもらっても良いのでは。サロン現場からも学校PRしていくべきである。
お客様から聞かれたときに、お話することが出来る。(学費等)
- ・進路ガイダンスなど、一緒に参加させてもらえると、サロン現場の生の声。やりがいを伝えることが出来るのでは。協力できることは何でも協力していく。
- ・学校の魅力・カリキュラムをサロン側からも、伝えると県外への流出も若干だが、防げるのでは。
- ・組合側から学校と一緒にイベントをしていきたい想いはある。今まで以上に、学校と業界が協力しあい、美容師がやりたい職として選ばれるようにしていきたい。
- ・情報が拡散する時代だからこそ、美容師としての良い部分を学校と今以上に協力をしあい、選ばれる仕事。選ばれる学校にしてほしい。
- ・生徒募集に今まで以上に力を入れていく。
- ・サロンの方からも、お客様に仕事のやりがいや楽しさを伝えてほしい。本校の卒業生として誇りを持って活躍している姿が一番影響が大きいと感じている。
- ・学校の授業として、サロン(卒業生)が講師として来てくれ良い傾向である。
- ・今後、学校支援サロン懇談会や授業参観を実施していきたい。学校をオープンにし、理解してもらおう機会をつくっていきたい。
- ・自己評価をすることで、学校教育内容等を見直す良い機会となっているので、継続してより良い魅力ある学校にしていきたい。
- ・現場の先生方は、大変だと思うが良い加減で、前を向いて頑張っていてほしい。
- ・学校の努力を改めて感じられ、サロンとしても学校に今以上に協力していきたい。
- ・大切にスタッフを育成していきたいと強く感じた。
- ・昨年度より質の高い学校となるよう、全職員が共通意識のもと、1つ1つを大切に考え、具体的方策を協議しながらすすめていく。
- ・コロナ渦であるが、在校生満足度を上げることを軸とし、今後も引き続き、頑張っていきたい。
- ・重点目標に沿って、評価4を質の高い内容にするべく、努力していく。
- ・今年度はより一層、生徒募集に力を入れてほしい。

以上が、学校関係者評価委員会にて検討した事項の報告

4. 教育課程編成委員会の報告(資料3)

- ・教育理念等も踏まえた上で、技術、教養だけでなく、心の教育、メンテナンスを学校と業界が連携していく必要がある。
- ・就職活動におけるサロンへの対応として、オンライン面接を含め、業界発展のためにも学校からの提案を明確にしていく必要がある。働き方改革も含め、時間帯等の提案をしていく
- ・学校での手厚い指導等で国家試験を合格しているが、国家試験がゴールのようになってしまう卒業生も出てしまうので、サロン側が、その先の業界の魅力を伝えていけるようにしていかないと若い世代が中々成長しなくなってしまう。
- ・家族の業界への理解が無いと、退職を希望した時など心理的な理由を言われたときなど、話をしてもうけいれてもらえないことが多々ある。

以上が、教育課程編成委員会にて検討した事項の報告

5. 次回 第1回 自己評価委員会

日 程：令和5年7月24日(月) 10時30分より 場 所：松本理容美容専門学校 会議室